

## 東京23区全域で使用済み紙コップのリサイクルプラットフォームを構築

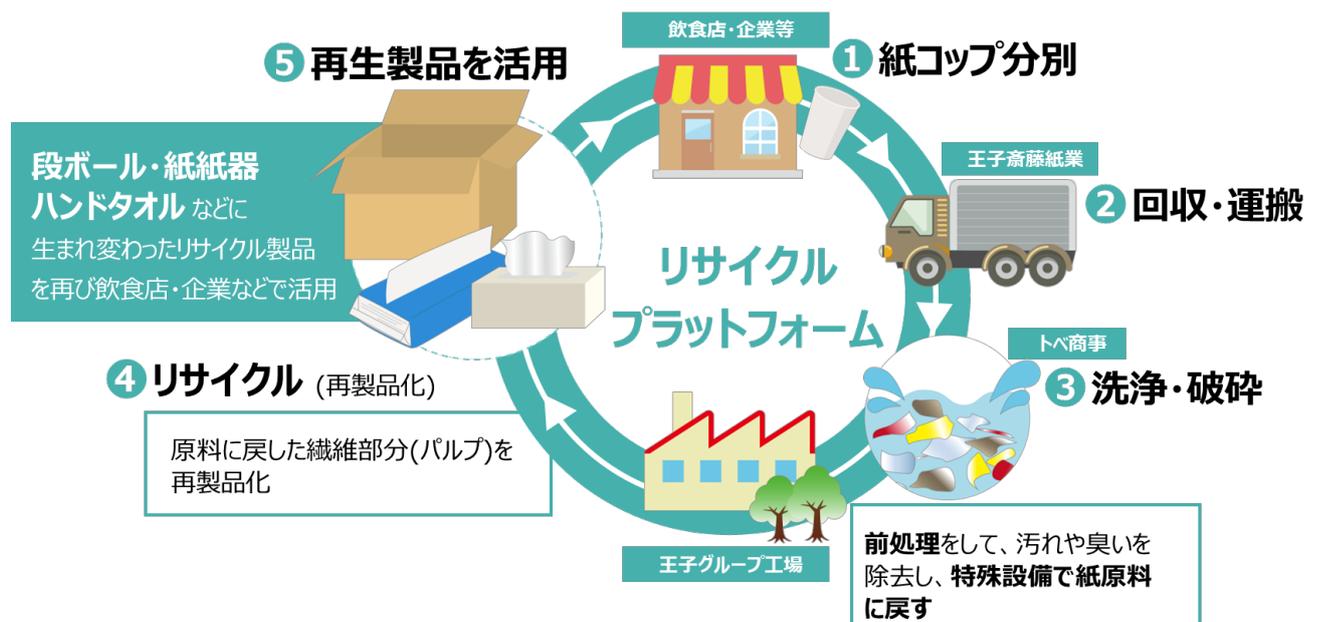
王子ホールディングス株式会社(代表取締役社長:磯野裕之、本社:東京都中央区)は、東京23区全域を対象とした使用済み紙コップのリサイクルプラットフォームを構築したことをお知らせいたします。

この取組では、新たに花王株式会社、ソフトバンク株式会社及び国際紙パルプ商事株式会社と連携し、紙コップの分別回収を行い、資源として再活用します。王子グループは、紙コップの回収ルート構築から、破碎・洗浄などの処理工程、そして再生製品の製造・活用までを一貫して行う、リサイクルの仕組み全体を提供しています。

紙コップは一般的に耐水性を持たせるため、プラスチックラミネート加工が施され、古紙回収に出せない禁忌品として大部分が焼却処分されています。しかし近年、サーキュラーエコノミー実現に向け、使用済み製品を再び原材料として利用する、持続的なマテリアルリサイクルの重要性が高まっており、紙コップに関しても、再利用技術の開発が望まれていました。本プラットフォームでは、王子グループの再生技術を活用することで、紙コップの繊維分(パルプ)は、nepiaハンドタオル、ボックスティッシュの箱、紙コップのスリーブ、段ボールなどに生まれ変わります。

王子グループは2022年から外食、宿泊、建設、流通業など、幅広い業界と連携して紙コップのリサイクルを推進してきました。このたび新たに連携する花王株式会社(すみだ事業場)、ソフトバンク株式会社(竹芝本社ビル)、国際紙パルプ商事(本社)の3拠点では、年間約1.6トンの紙コップを回収します。

今後も本プラットフォームに賛同・参画いただける企業・団体を広く募集し、都市部におけるリサイクルモデルの拡充を目指します。拠点数・対象エリアの拡大を進め、2030年までに年間300トンの回収を目標としています。



紙コップのリサイクルプラットフォーム

・各社での紙コップ回収コーナー



花王(すみだ事業場)



ソフトバンク(竹芝本社ビル)



国際紙パルプ商事(本社)

・リサイクル製品の例



ハンドタオル

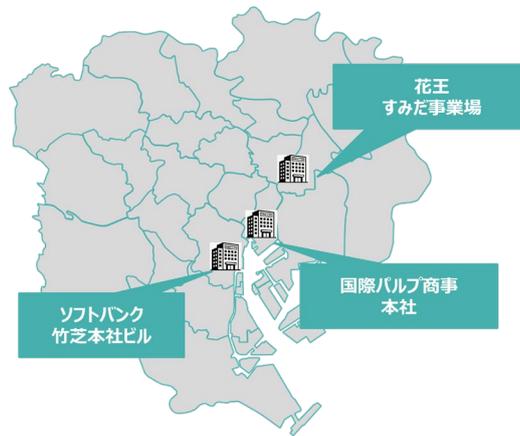


ボックスティシュの箱



段ボール

・プラットフォームのエリア



現時点の対応エリア及び回収拠点

《関連リリース》

>「王子HD・日本マクドナルド・日本KFC・タリーズコーヒー、4社連携による紙カップリサイクルを開始」のお知らせ

<https://www.ojiholdings.co.jp/uploads/news/docs/Formdata/2025/JP01oj31.pdf>

>ソフトバンクのオフィスで使用された紙コップをnepia/ハンドタオルにマテリアルリサイクル！

<https://www.ojiholdings.co.jp/uploads/news/docs/JP2025052200.pdf>

本件に関する問い合わせ先

王子ホールディングス株式会社

グループオペレーション本部 リサイクル推進部

TEL:03-3563-1130 E-mail: [ohd.recycling-system@oji-gr.com](mailto:ohd.recycling-system@oji-gr.com)

コーポレートガバナンス本部 広報IR部

TEL:03-3563-4523 E-mail: [oji-holdings@oji-gr.com](mailto:oji-holdings@oji-gr.com)